

令和2年度第2回酒田市公民館運営審議会 会議記録

令和3年3月25日(木)

午後3時00分～4時30分

総合文化センター412号室

- 出席者 土門敦委員、高橋利春委員、前田茂実委員、阿部公一委員、加藤千鶴委員、佐藤春佳委員、佐藤純子委員
- 欠席者 齋藤嵩史委員、齊藤剛士委員、石川歩夢委員
- 事務局 阿部課長、村井課長補佐、深松課長補佐、小野社会教育主査兼係長、長谷川主事、佐々木主事、佐藤専門員

1 開 会 (事務局)

2 課長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 会 議

(1) 協議事項

①令和2年度社会教育・中央公民館主要事業実績について(事務局 内容説明)

(質疑応答)

委員 コロナ禍の中、これだけの事業を実施できたことは有意義だったと思う。

副委員長 令和2年度がこのような状況になるとは誰も予想できず、感染症対策分の予算が予め確保されていたわけでもないので、事務局は手探り状態でさぞや苦勞したと思う。

委員 地域人材交流講座について、鳥海小学校でも書初めや読み聞かせ、農作業体験などで活用させていただいた。講師には謝金として図書券をお渡ししているが、数年前一度減額になったことがある。次の年には戻していただいたが、減額だとあまりに心許なく思うので、現状維持でお願いしたい。また、酒田偉人紹介事業について、先日、里仁館にて茂木善作氏についてお話しさせていただいた。前回の公民館運営審議会にて委員長であった故齋藤豊司氏は成田三樹夫氏についてお話しされるとおっしゃっていた。ぜひ、拝聴したかった。先日、吉野弘氏の詩について、制作秘話をお話しされている動画を入手した。新鮮な気持ちを覚えることが多かった。私の話が何かしらのアイディアにつながると嬉しい。

副委員長 小中学生に対する郷土愛の醸成は公民館事業においても重要なテーマの一つ。今後コロナが終息した後のことも考えていかなければならない。例えば、動画コンテストの開催。現在年金に関する動画のコンテストに携わっているが、そういった既存のコンテストを参考に様々な事業に反映していただきたい。

②令和3年度社会教育・中央公民館主要事業（案）について（事務局 内容説明）
（質疑応答）

副委員長 説明を聞き、コロナ禍の中で実施していくのはなかなか難しいという感想。そのような状況であっても一定水準のサービスは提供していかなければならない。

委員 高齢期向けのデジタル社会対応講座について、先日の PayPay とのキャンペーンは大好評で市全体が盛り上がった。5月の第2弾も楽しみにしている。高齢期に限らず全年齢に恩恵がある企画をお願いしたい。赤ちゃん登校日について、オンラインでの開催も検討しているとのことだったが、他課の子育て支援課と図書館ではオンラインで読み聞かせボランティアの育成を行っていた。コロナがいつ終息するかわからないのであれば、そのようなオンラインでの講座の開催は積極的に取り入れていくべきだと思う。

副委員長 講師の招聘を省略して行うオンラインの講座は、これからのデジタル社会における生涯学習の在り方の一つだろう。しかし高齢者にはデジタル社会を学ぶための設備や環境が整っていない方も多く、公民館側でそれら学習に必要な設備を準備するというのも難しく悩ましいところである。

委員 オンラインでの講座開催について、自身のリトミック教室でも今年度オンラインを活用した。児童は最初こそ戸惑いがあったが、すぐに慣れてくれた。実際に対面して行うより、大画面で確認することで講師の動作が見やすいというメリットもあったように思う。もちろん対面で行う方がメリットも多いが、実施しないよりはどうか工夫して実施した方がよい。これまで公民館運営審議会では講座に人が集まらないという課題をずっと話し合ってきたが、オンラインを活用し誰もがどこでもいつでも学習できる機会を創出することでこの課題の解決にもつながるのではないか。また、今年度の生涯学習まつり中止は残念だった。中止にするのは簡単だが、開催する方向で寸前まで取り組んでいただきたい。最後にもう一つ、市長部局間どころか、教育委員会内でも市内の人材が共有されていない。事業系の部署では人材の共有に努めてほしいと思う。

副委員長 寸前でのイベント中止は各所の予定もあるため、慎重に検討する必要がある。

委員 里仁館における令和2年度の講座「忘れえぬ人々」にて、故齋藤豊司氏から成田三樹夫氏についてお話していただいた。闘病中にもかかわらずご尽力いただき、大変好評をいただいた講座だった。また、中高生ボランティア支援事業では里仁館の親子講座にスタッフとして参加していただいた。中高生ボランティア側からもとてもよい経験になったという声があり、双方にとってメリットがあったと思う。引き続き連携していきたい。デジタル社会対応講座は総合文化センターで行うよりも、コミュニティセンターなど小規模の単位で実施したほうが良いと思う。里仁館でも令和2年度では講座を実施していたが、最近各携帯会社が無料でスマホ講座を実施しているため、令和3年度は企画していない。里仁館ではフェイスブックに講座の様子と概要を掲載しており、講座に参加していない方々の関心を引くように努めている。

副委員長 募集人員は先着順か抽選か、対面で行う講座はいつまでにどのような状態になった場合中止となるのか、明確にしておいた方がよいだろう。

委員 生涯学習まつりはサークルや中央公民館利用団体の発表の場。それを踏まえた上でオ

ンライン開催はとても有効な方法だと思う。毎年仙台市で開催されるみちのくYOSAKOIまつりは、去年オンライン開催となり、各団体の動画を素材に例年と同日同時刻に動画配信サイトにて生放送を行った。確かに、実際に一箇所へ集い交流することも大切だが、コロナ禍の中でできることを模索していく必要がある。また、オンライン講座の話については各講座対面で行いつつもその様子を撮影し、動画配信サイトの専用チャンネルにアップロードしてみてもはどうだろうか。動画にアクセスできるかどうかは別問題ではあるが、動画としてアーカイブを残しておくということが有効だと思う。新たな層の受講生獲得へつながる。もちろん受講には有料の講座もあるため、動画として公開する際は全部ではなく一部にするなどすみ分けは考えなければいけない。酒田の偉人紹介事業について、小中学生の頃、偉人にまつわる学校行事に対して理解がなく、ただ、ほかの学校との違いに戸惑っていた。その時分に、偉人について知るきっかけがあればよかったのと思う。ぜひ、継続していただきたい事業である。

委員 夏休み宿題お手伝い教室について、とてもよい事業だと思う。松陵コミュニティセンターでも、令和3年度より子どもの居場所づくりとして寺子屋を開こうと企画している。以前、宮野浦コミュニティセンターでも英語教室を行っていたが、それを参考にしている。この事業が行われる際には、ぜひ見学させていただきたい。

委員 阿部次郎氏を深堀する事業について、松山には阿部記念館があるが、なぜ阿部次郎記念館でないのかといえば、阿部襄氏を始め素晴らしい功績をあげてきた方々が親族には多数いらっしゃるため、阿部次郎氏個人というよりは阿部家全体の記念館だからという話もある。この事業についても、阿部次郎氏だけではなく阿部家の他の方も対象とした方が内容の濃い講座になるのではないだろうか。

委員 里仁館でも「阿部家の人々」という講座があるが、その際は山形大学の山本晴美氏にお話しいただいている。参考にさせていただければと思う。

(2) その他

副委員長 今後の公民館運営審議会のあり方について、これまで公開されることなく執り行われてきたが、市民への発信力強化のため会議録を公開していきたい。さらに、プレスリリースを行い各新聞社にも協力していただければより良いと思う。

5 その他

事務局 会議録の公開について、この会議も原則公開となっているためホームページ上で公開させていただければと思う。

副委員長 決まっているのであれば、事務局側で公開におけるルールの整備をお願いする。

6 閉 会（事務局）